

More Curiosity

More Focus



メディアや政治家の言説に潜む 偏見や不平等を読み解き、 少数派の人権が守られる世界へ。

メディアの言説にはイデオロギーや不平等が見えにくい形で含まれているため、無批判に受け入れていると、知らないうちに特定の考え方に誘導されるリスクがある。専門とする『コーパス支援型言説研究』は、大量のテキストや発話を集めた「コーパス」を用いて、社会的言説を質的・量的に分析する。日本では研究者の少ないこの分野を推進し、少数派の人権が守られる世界をめざしたい。



吉本 圭佑 Keisuke Yoshimoto

所属 | 政策学部 政策学科 教授

専門 | 応用言語学・理論言語学

英国・エセックス大学言語学研究科博士課程修了、Ph.D.(言語学)取得。2016年4月より龍谷大学へ。2023年英国・ランカスター大学客員研究員。現在の専門は『コーパス支援型言説研究』で、メディアや政治家の言説とその社会的影響を量的・質的に研究している。

Academic Doors

対話で開く、研究の世界

龍谷大学
研究・社会実装推進部
つづきは研究者インタビューへ



Research Perspectives

01

日本の新聞や国会審議における
同性婚に関する言説を
定量・定性的に分析。(※1)

02

同性婚の法制化に反対派は、
日本の独自性や伝統を強調する言説で、
議論をかわす傾向を指摘。(※2)(※3)

03

選択的夫婦別姓などをめぐる
言説に潜む価値観を分析し、
人権尊重につなげる。(※4)

(※1) 科研費・基盤研究(C)「コーパスを用いたセクシュアルマイノリティの言語表象に関する批判的談話分析」(2020年4月-2025年3月)20K12474

(※2) Debating Same-Sex Marriage in Japan: Legitimation Strategies in Parliamentary Discourse (Discourse and Communication 19(5) 845-863) 2025

(※3) Anywhere but Here: Discourses and Representations Surrounding Same-Sex Marriage in Japanese Newspapers (Applied Corpus Linguistics 5(1)) 2025

(※4) 科研費・基盤研究(C)「家族の表象に現れるイデオロギーの考察:コーパスに基づく批判的談話分析」(2024年4月-2028年3月)24K15570